

2. 内部評価について

(1) 「事務事業」の評価方法

「事務事業」の評価方法としては、事務事業を所管する各課の担当課長等が、行政評価シート【個表】を用いて、それぞれの取組について評価しました。

そして、各事業別に「事業を構成する事務事業（最小事業）」に分解し、最小事業単位で実施した事業（成果・アウトプット）、投入予算を示し、事業効果を評価しました。

■行政評価シート【個表】の概要

評価シートの作成は、事務事業を単位として、次の項目を記載しています。

- ・ 事業の目的
- ・ 実施した事業の概要
- ・ 事業を構成する事務事業（最小事業）実績
事務事業を構成する事務事業（最小事業）に分解し、最小事業単位で実施した事業、投入予算を記載しています
※人件費は概算になります。繰越予算等の関係で、事業費、予算額が「施策の成果報告書」「予算事項別明細書の内容説明」等の記載と異なることがあります。
- ・ 事業に関わる職員数
各課の職員配置数を基に、事務事業に従事する職員数を算出しています（概算）。
- ・ 最小事業毎の評価
最小事業毎に、指標設定理由、寄与度・妥当性、課題・改善点を記載しています。
- ・ 視点別評価
効率性、妥当性、有効性など5分野8項目で評価しています。
- ・ 総合評価
事業の評価を総合的に判断し、拡充、現状維持等5つの項目で評価しています。

その他、事業実施に係る中期的な指標や他都市比較・ベンチマーク等の指標についても、可能な限り指標を設定しています。

■行政評価シート【個表】様式（1枚目）

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】						令和	年	月	日
評価対象事業			評価者						
			<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		主管課				
					関連課				
総合計画上の位置付け		分野		施策の方針					
1 事業の目的									
対象									
意図									
効果									
2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要									
3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績									
枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度		達成度	
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	/	指標(目標値) 予算額(千円)	/		
01				/	/				
02				/	/				
03				/	/				
04				/	/				
05				/	/				
06				/	/				
07				/	/				
08				/	/				
09				/	/				
10				/	/				
		財源 内訳	国庫支出金	/	/				
			地方債	/	/				
		その他特定財源	/	/					
		一般財源	/	/					
		事業費の合計(千円)		0	/	0	0	0	
		人件費(千円)				0	0	0	
4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)									
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
正規職員等									
会計年度任用職員									

■行政評価シート【個表】様式（2枚目）

5 評価結果				
(1) 最小事業評価				
枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	0			
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価				
効率性	事業費の削減余地はないか			
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか			
	関連・類似する事業の統合はできないか			
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか			
	民間によるサービスで代替できる事業はないか			
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか			
公平性	受益者負担は公正・公平か			
協働	市民等と協働して事業を展開しているか			
			協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する					
【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止

■行政評価シート【個表】様式（3枚目）

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--

■行政評価シート【個表】様式（2枚目）のうちのプルダウンメニューの内容

効 率 性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない 2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み 2 外部化に向けて検討できる事業がある 3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業は統合はできないか		1 統合済み 2 統合に向けて検討できる事業がある 3 統合できる事業はない
妥 当 性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある 2 市民ニーズが減少している事業がある 3 市民ニーズは把握していない 4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		1 民間によるサービスで代替できる事業がある 2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している 3 民間によるサービスで代替できる事業はない 4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有 効 性	上位施策への貢献度は		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である 2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある 3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公 平 性	受益者負担は公平・公正か	○. 負担導入済	○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある ○-2 適正な受益者負担を導入している
		△. 負担未導入	△-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を実施しているか	○. 協働実施済	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		△. 協働未実施	△-1 今後、市民等との協働による事業を検討すべき事業がある △-2 市民等と協働して実施する事業はない △-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない

(2) 「施策の方針等」の評価方法

「施策の方針等」の評価方法としては、全ての施策の方針等を対象に、施策の方針等に係る事務事業を所管する各部の部長等が、それぞれの取組について「行政評価シート」を用いて、成果指標の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析を踏まえた評価を行いました。そして、事務事業を所管する各課の担当課長等の評価や施策の方針等への進捗への貢献度を踏まえて、事務事業の最終評価も行いました。

■行政評価シートの概要

評価シートの作成は、施策の方針等を単位として、次の項目を記載しています。

事業を実施した結果、どのような成果を生み、次の事業実施に活かしていく PDCA マネジメントサイクルをより意識した評価とするため、令和5年(2023年)度に整理・追加しました(.....の項目は、今回(令和5年度評価)から新たに追加した項目です)。

- P
- ・「目標とするまちの姿」「主な取組」
評価対象となる施策の方針が第4期基本計画の計画期間内において目指す「目標とするまちの姿」「主な取組」を記載しています。
 - ・前年度(評価対象年度)の当該施策の目標
評価対象となる施策の方針における前年度(評価対象年度)に予定していた目標を記載しています。
- D
- ・投入コスト
施策の方針にひもづく全ての事務事業の事業費と人件費を合計して記載し、施策の方針の実施に係る総事業費として記載しています。
 - ・事務事業の評価結果(事業費、人件費、事業評価結果)
施策の方針にひもづく事務事業の行政評価シート【個表】の結果を転記しています。その上で、施策の方針における貢献度及び最終評価結果を各部の部長等が実施しています。
 - ・評価対象年度の主な実施内容
施策の方針等にひもづく事務事業が、評価対象年度内に実施した事業の内容を記載しています。
 - ・前年度外部評価における提言・質問に対する回答
令和4年(2022年)度行政評価において鎌倉市民評価委員会から提言又は質問があった事項に対する回答を記載しています(令和4年(2022年)度行政評価においてスポット評価の対象となった施策についてのみ記載)。
 - ・第4期基本計画策定時に設定した成果指標
第4期基本計画の策定にあわせて設定した成果指標の目標値、実績値と達成率を記載しています。

C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の方針の成果指標の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析 施策の目標や成果指標の達成状況から、事業の実施状況を分析しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価</u> 評価対象年度に実施した事業内容が「目標とするまちの姿」の実現にどのように繋がるものであったのかを評価しています。
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の方向性 施策の達成状況の分析や評価を踏まえた今後の取組方針を設定しています。
P'	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>今年度(評価年度)の目標</u> 今回の評価を踏まえて、評価対象となる施策の方針等の今年度（評価年度）の目標を設定しています。

(3) 「貢献度に関する分析」

事務事業の評価結果で判断した貢献度について、当該貢献度とした理由を分析しています。令和5年(2023年)度実施から、貢献度を次の5段階評価に変更しています。

◆貢献度
● S 当該事業のみで施策の方針を達成できる事業である
● A 施策の方針の達成に十分貢献している事業である
● B 施策の方針の達成に貢献している事業である
● C 施策の方針の達成への貢献が十分でない事業である
● D 施策の方針の達成への貢献が不十分な事業である

■行政評価シート（2枚目）

4. 評価対象年度の主な実施内容

※実施できなかった事業とその理由

※ 前年度外部評価における提言・質問に対する回答

提言・質問	回答
	→
	→
	→

5. 成果指標

成果指標①						出典			
初期値	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	目標値								
	実績値								
	達成率							%	

成果指標②						出典			
初期値	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	目標値								
	実績値								
	達成率							%	

成果指標③						出典			
初期値	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	目標値								
	実績値								
	達成率							%	

成果指標④						出典			
初期値	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	目標値								
	実績値								
	達成率							%	

■行政評価シート（3枚目）

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

--

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係（達成状況とその理由）

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

--

8. 今後の方向性

--

9. 今年度（評価年度）の目標

--